

文京区

# 男女平等センター

## だより

2009年3月31日発行

発行/文京区女性団体連絡会 会長 大川米子

〒113-0033 文京区本郷4丁目8番3号

TEL.03-3814-6159 FAX.03-5689-4534

文京区男女平等センターは文京区女性団体連絡会(文女連)が  
指定管理者として管理・運営しています。

2009

No.61

### BUNKYO GENDER EQUALITY CENTER



#### Topics

2009男女平等センターコンサート  
「盲導犬アンディとともに  
天野亨コンサート」

#### Contents

「男女共同参画社会はどこまできたの」	2・3
プラスワンセミナー 「ワーク・ライフ・バランス」他	4
国際女性の日によせて	5
センターコンサート「天野亨氏コンサート」	6
区政を知る懇談会「あしたのエコでは選ずる」	7
シンポジウム・セミナーに参加して	8・9・10
男女協働・特命担当課/ 「子育てアンケート」に関する報告	11
事業予定	12



## 男女平等センターコンサート 平成21年3月14日(土)

前日からの雨と風が止まない寒い日でしたが、68人の熱心な観客が集いました。ホーム・コンサートのような暖かい雰囲気になって、盲導犬アンディに先導された天野氏がステージに立ち、コンサートが始まりました。前半は主に外国曲、後半は日本の歌曲を歌い、歌の間に盲導犬(アイメイト)に関するお話を天野氏が語るというプログラムでした。

ナポリ民謡のサンタルチアとシューベルトのアヴェ・マリアに続いて、スペインの盲目の作曲家ロドリゴの歌曲が披露され、明るく美しい歌声に心を洗われる思いでした。最初のお話の後に歌われた團伊玖磨の「花の街」は、まじかの春を先取りした良い選曲でした。

休憩の後は、滝廉太郎の「花」、「荒城の月」や成田為三の「浜辺の歌」など、私たちに懐かしい歌を5曲、天野氏は解説を加えながら朗々と歌いました。岡川若菜さんの伴奏と息もピッタリで、もっと聞きたいと思わせる素敵なコンサートでした。

天野氏はチーム・アウローラ(イタリア語で曙の意)のメンバーとして、からだに障害を持つ人たちの職域拡大などを目指して、音楽を中心に全国的な活動を行っています。歌の間に天野氏は、



天野亨(あまのとおる)：テノール歌手  
国立音楽大学声楽学科卒業 イギリス・フランス等で海外公演を行う。国内では、学校や福祉団体を中心に盲導犬や視覚障害者への理解について普及活動を行っております。  
鎌田滋子 工藤健司に師事 フランス歌曲研究会会員



## 盲導犬アンディとともに 天野亨コンサート

ご自分の生き立ちや現在の生活の様子などを交えて二つの話をされました。その中で障害はその人の個性の一つだと明るく言われたことに感銘を受けました。

前半のお話は「盲導犬の仕事は？」という題で、アイメイトと呼ばれる盲導犬がどのように育てられ、どういう仕事をしているのか、仕事時のアイメイトに周囲の人はどのように接すれば良いのか、アイメイトとして行動できるまでの、視覚障害者とアイメイトとの厳しい訓練の様子などのお話でした。

もう一つの「バリアフリーへの思い」というお話では、視覚障害者に声をかける時は、軽く肩に触れて「何かお手伝いをしましょうか」と訊ねれば、相手に通じ易いと言われました。ちょっとしたことですが、バリアフリーとはそういう心遣いなのだということが解り、大変参考になりました。

障害者にやさしいバリアフリー社会は、即ち高齢者を含む全ての人々に、平等にやさしい社会です。天野氏の活動を通じて、そういう社会が少しずつでも広がりつつあることを感じるコンサートでした。



天野さんの歌を聞きながらリラックスしているアンディ



(広報部)



区政を知る懇談会  
「あしたのエコでは遅すぎる」

1. 懇談会開催に至るまでの歩み

私たちが活動の企画をする時「どうすれば沢山の方が参加してくれるだろう」が最大の関心事になります。

今回の「地球温暖化について」となると、必要で大切な事だとは思っていても、会に出席してともに考え行動しようという方は大勢はいないだろうと…。そこで、普通の区民が、どのようなエコ生活を実践しているか実態を調べその情報をもとに話し合おうという事になりました。できれば皆様に出席して頂き、ご自分の実践を発表して頂く。都合がつかなければ、その事柄を発表して良いか了解を得ておくという取り組みをしました。

その結果のたまかな事例を挙げると、

- ①本郷魚屋さんの取り組み……エコパックの販売、ペットボトルキャップの回収など
- ②指ヶ谷町会婦人部の生ごみ回収と堆肥づくり、月1回町会の生ゴミを集め「緑のゴミ銀行」の堆肥づくりに協力する活動
- ③医院・薬局のクール・ピズ、暖房温度を下げる活動への参加
- ④茶がらの活用……茶がらの殺菌力を利用して土に混ぜて植物を育てる。など…



2. 懇談会の進め方

文京区資源環境部対策課の談話

④地球温暖化の現状と温暖化の影響について「STOP The 温暖化」～青い地球の物語～地球温暖化を止めるために、環境局企画のパンフレットを用いて、身近な問題として捉える大切さを感染症と水不足の事例を挙げて説明されました。

区政を知る懇談会

「あしたのエコでは遅すぎる」

④文京区地球温暖化対策事業について家庭で出来る10項目をパンフレットを用いて説明されました。



3. 懇談会 - 参加者の実践発表と討議 -

- ①ゴミ減量化の工夫
  - ②指ヶ谷婦人部活動
  - ③炊事の時のガス、電気を効率的に使う工夫の仕方と新しい器具の活用
  - ④待機電力削減の工夫
  - ⑤充電時間が短くなる電池の活用
  - ⑥車の乗り方、アイドリングストップ
- など、各家庭での実践を出し合いました。

話し合いの中で、ペットボトルのふたの回収の不備や問題点の指摘もありましたが、環境問題は非常に広範囲にわたっているので、継続してこのような企画をすることの必要性を確認しました。次はリサイクル清掃課と連絡して「文京区のゴミ対策」を取り上げてみたいという事で終了しました。

予想通り参加者は少なかったが、本郷の魚屋さんの「最近の市場での魚の様子」から「地球温暖化による影響を日々肌で感じる」という感想や、指ヶ谷婦人部の実践は～一人一人の力をつないで～というスローガンを改めて認識でき、これからの活動に生かしたいと思いました。

(企画部 坂本)

Let's Try! あしたのエコでは遅すぎる

地球にやさしい暮らししてみませんか?

日時: 平成21年2月9日(月) 午後1時30分～

会場: 文京区男女平等センター www.kj.kyodokyo.or.jp

講師: 環境 幸江 氏

主催: 文京区男女平等センター